

セクション 1: 化学物質等および会社情報

製品特定名

製品形態 混合物
製品名 CF6-135
別名 シリコーンプライマー

該当純物質または混合物の関連特定用途および使用禁止用途

物質/混合物の用途 業務用のみ

安全データシートの作成者に関する詳細

顧客

NuSil Technology LLC
1050 Cindy Lane
Carpinteria, California 93013
USA
(805) 684-8780
ehs@nusil.com
www.nusil.com

緊急時の連絡先電話番号

緊急連絡先電話番号 800-424-9300 CHEMTREC (米国内)、+1 703-527-3887 CHEMTREC (国際および海上)

セクション 2: 危険有害性の要約

物質または混合物の分類

GHS-JP 分類

物理的危険性 引火性液体、区分 2
健康に対する危険有害性 皮膚腐食性/刺激性、区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性、区分 1
特定標的臓器毒性 - 単回暴露、区分 3、昏睡
環境有害性 水生環境急性有害性 - 区分 3
水生環境有害性 - 慢性有害性 - 区分 2

ラベル要素

有害性に関する絵表示 (GHS-JP)



注意喚起語 (GHS-JP)

危険

危険有害性情報 (GHS-JP)

引火性の高い液体および蒸気 (H225)。
皮膚刺激 (H315)。
眼に対する重篤な損傷性 (H318)。
眠気またはめまいのおそれ (H336)。
水生生物に有害 (H402)。
長期的影響により水生生物に毒性 (H411)。
熱、高温の表面、火花、火気、その他の発火源から遠ざける。禁煙。
(P210)。
容器を密閉しておくこと。(P233)。
容器と受器を接地し、結合する。(P240)。

注意書き [予防策]

CF6-135

安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準拠

対応の注意書き

防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること(P241)。
火花を発生させない工具を使用すること。(P242)。
静電放電防止対策をとる。(P243)。
蒸気、ミスト、スプレーの吸入を避けること(P261)。
取扱い後は手、前腕部、顔をよく洗うこと。(P264)。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)。
環境への放出を避けること。(P273)。
保護手袋、保護衣、眼球保護具を着用すること。(P280)。
皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。(P302+P352)。
皮膚(または髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて取り去ること。水で皮膚を洗浄すること。(P303+P361+P353)。
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること(P304+P340)。
眼に入った場合: 水で数分間、注意深く洗浄すること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。(P305+P351+P338)。
直ちに毒物管理センターまたは医師に電話すること。(P310)。
気分が悪い時は、毒物センターまたは医師に連絡すること。(P312)。
特別な処置が必要(この SDS のセクション 4 を参照)(P321)。
皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。(P332+P313)。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)。
火災が発生した場合: 適切な消火剤を使用すること(P370+P378)。
漏出物を回収すること。(P391)。
換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。(P403+P235)。
施錠して保管すること。(P405)。
国際/国/都道府県/市町村の規則に従って、内容物/容器を廃棄すること。(P501)。

保管の注意書き

廃棄の注意書き

その他の危険有害性

分類に関係しない他の危険有害性

既存の眼疾患、皮膚疾患、または呼吸器系疾患がある場合は、暴露によりこれらの疾患が悪化するおそれがある。

セクション 3: 組成、成分情報

物質または混合物の識別

混合物

名称	濃度	化学式	公報リストの参照番号		CAS 番号
			CSCS 番号	ISHL 番号	
ソルベントナフサ、石油、軽脂肪族	70-90%	特記なし	9-2602	9-2602	64742-89-8
ケイ酸(H ₄ SiO ₄)、テトラキス(2-メトキシエチル)エステル	<10%	C ₁₂ H ₂₈ O ₈ Si	(2)-2049	(2)-2049	2157-45-1
チタンテトラブトキシド	<10%	C ₄ H ₁₀ O ₁ /4Ti	(2)-228、(2)-2150、(7)-356	(2)-228、(2)-2150、(7)-356	5593-70-4
白金触媒	<10%	特記なし		1-(2)-239	68478-92-2

CF6-135

安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準拠

セクション 4: 応急措置

応急措置の説明

一般的な応急措置

意識のない場合は、口から何も与えてはならない。気分が悪い場合は、医師の診察を受ける（可能な場合はラベルを提示する）。

吸入した場合の応急措置

症状が発生した場合：屋外に退避し、暴露の疑いのある区域の換気を行う。呼吸困難が続く場合は、医師の診断、手当てを受ける。

皮膚に付着した場合の応急措置

直ちに汚染された衣類を脱ぐこと。汚染された領域を直ちに水で 15 分以上洗い流す。直ちに毒物センターまたは医師に連絡すること。

眼に入った場合の応急措置

直ちに水で 30 分以上洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。直ちに医師の助言／診察を受けること。

飲み込んだ場合の応急措置

無理に吐かせない。口をすすぐ。直ちに毒物センターまたは医師に連絡すること。

応急処置をする者の保護と対策

適切な個人用保護具 (PPE) を使用する。

急性と遅延型の両方を含む、最も重要な症状と影響

症状／影響

眼の重篤な損傷を引き起こす。皮膚刺激。眠気およびめまいのおそれがある。飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれがある。皮膚への接触により、損傷を引き起こすおそれがある。

吸入した場合の症状／影響

濃度が高い場合、めまい、嘔吐、無感覚、眠気、頭痛、麻酔に類似する症状などの中枢神経系の抑制を引き起こすおそれがある。

皮膚への接触後の症状／影響

赤み、痛み、はれ、かゆみ、炎症、乾燥、皮膚炎。この物質は、皮膚に接触すると有害であり、多大な健康への悪影響または死を引き起こす可能性がある。この物質は皮膚と眼から吸収されるおそれがある。

眼に入った後の症状／影響

角膜、虹彩、または結膜に恒久的な損傷をきたす。

飲み込んだ場合の症状／影響

肺への誤嚥は摂取中または嘔吐中に発生し、肺損傷を引き起こすおそれがある。

慢性症状

反復暴露により、皮膚の乾燥またはひび割れを引き起こすおそれがある。

即時の医療措置および特別な治療の適応となる症状

暴露した場合や暴露が懸念される場合には、医師の診断、手当てを受けること。医師の診察が必要な場合、製品の容器やラベルを持参すること。

セクション 5: 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

粉末消火剤、耐アルコール空気泡消火剤、二酸化炭素 (CO₂)。水は、消火に効果的でないこともあるが、火にさらされた容器を冷やすには水を使用する。

不適切な消火剤

強力な放水を使用してはならない。強力な放水を使用すると、燃焼している液体が広範囲に飛散する可能性がある。熱い生成物に放水すると、フロス (泡) が発生し、火力が強まる場合がある。

物質または混合物に由来する特別な危険有害性

火災危険性

引火性の高い液体および蒸気。

爆発危険性

可燃性または爆発性の蒸気・空気の混合物が発生するおそれがある。

反応性

強酸化剤には、激しく反応する。火災または爆発の危険性が增大するおそれがある。

CF6-135

安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準拠

消火時の注意事項

火災に関する予防措置
消火時の指示

化学物質による火災の消火は慎重に行う。
露出した容器の冷却には散水あるいは水の噴霧を使用する。大火災および大量の場合：退避する。爆発の危険があるので、十分に距離をとった位置から消火を行う。

消火時の防護

呼吸用保護具を含む適切な防護具を装着していない者は、火災発生エリアには立ち入ってはならない。

有害燃焼生成物

炭素酸化物(一酸化炭素、二酸化炭素)。ケイ素酸化物。炭化水素。プラチナ酸化物。

その他の情報

消火活動の際の流出物が排水設備や水路に入らないようにすること。

セクション 6: 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具、および緊急措置

一般的な措置

眼、皮膚、および衣服に接触しないようにすること。蒸気、ミスト、スプレーを吸引しないこと。熱、高温の表面、火花、裸火、その他の発火源から遠ざかる。禁煙。静電荷の発生を避けるために特別な注意を払う。裸火、火花から遠ざけること。禁煙。当該領域の換気を行う。

二次災害の防止策

緊急救援隊以外の人員

防護具

緊急措置

緊急対応にあたる人員

防護具

緊急措置

適切な個人用保護具(PPE)を使用する。

不必要な人員を退避させる。安全な場合は漏出を停止する。

浄化担当スタッフには適切な防護具を装着させる。

現場に到着したら、まず危険なものがないことを確認し、自分自身と周囲の人々を保護し、周辺を安全を確保し、状況が許し次第、訓練された人の支援を求める。発火源を除去する。当該領域の換気を行う。

環境に関する注意事項

下水および公共用水への流入を防止する。環境への放出を避けること。漏出物を回収すること。

封じ込めおよび浄化の方法・機材

封じ込め

漏出した物質を防壁または吸収材で封じ込め、移動および下水や水路への流入を防止する。即時的な事前対策として、全方向の漏出あるいはリークエリアを隔離する。

浄化方法

漏出した物質を迅速に除去し、回収した物質は安全に廃棄する。不活性物質を用いて漏出した物質の吸収や封じ込めを行う。漏出した物質を廃棄に適した容器に移す。可燃性の物質(おがくずまたはセルロース系の物質)で吸収してはならない。火花を発生させない工具を使用すること。漏出の発生後に、監督官庁に通報する。

他のセクションの参照事項

セクション 8「暴露防止および保護措置」およびセクション 13「廃棄上の注意」を参照のこと。

セクション 7: 取扱いおよび保管上の注意

安全な取扱いに関する注意事項

加工時の追加的有害危険性

空の容器は、可燃性の残留蒸気が内部に残っているおそれがあるので、取扱いは慎重にする。

CF6-135

安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準拠

安全な取扱いに関する注意事項

蒸気、ミスト、スプレーを吸引しないようにすること。眼、皮膚、および衣服に接触しないようにすること。静電気放電に対する予防措置を講ずること。火花を発生させない工具を使用すること。飲食や喫煙の前、および作業場を離れる際には、手やその他の露出した部位を刺激性の少ない石鹼と水で洗浄する。空の容器は、まだ危険を引き起こす可能性があるため、慎重に取扱うこと。

衛生対策

労働安全衛生手順に従って取り扱うこと。

安全な保管の条件(混触危険性を含む)

技術的対策

適用される規則を遵守する。静電放電防止対策をとる。容器と受器を接地し、結合する。防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。

保管条件

乾燥した涼しい場所に保管すること。直射日光、極端な高温または低温、混触危険物質を避けて保管する。安全な場所に施錠して保管する。換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。耐火性の場所に保管する。

混触危険物質

強酸、強塩基、強力な酸化剤。

梱包／容器に使用されている材料

追加情報なし

特定の最終用途

業務用のみ。

セクション 8: 暴露防止および保護措置

制御パラメータ データなし

生物学的限界 データなし

暴露防止

適切な工学的管理

暴露の危険性のある区域のすぐ近くに、緊急用の洗眼器および安全シャワーを設置しなければならない。十分な換気が行われるようにすること(特に狭いエリアにおいて)。国／地方公共団体の規則を確実に遵守する。可燃性のガスまたは蒸気が放出されるおそれがある場合には、ガス検出器を使用する。静電気の発生を防止するため、適切な手順で接地を行う。防爆型の機器を使用すること。

個人用保護具

手袋。保護衣。防護ゴーグル。換気が不十分な場合:呼吸用保護具を着用。



保護衣の素材

耐化学物質性の素材および繊維。耐火／防炎／難燃性の衣服を着用すること。

手の保護

保護手袋を着用すること。

眼および顔面の保護

化学薬品対応の安全ゴーグル。

皮膚および身体の保護

適切な保護衣を着用する。

呼吸器系の保護

暴露限界値を超えるか、かゆみなどが感じられる場合は、認証済み呼吸保護具を着用する。換気が不十分な場合や、酸素不足、または暴露レベルが不明な場合は、認証を受けた呼吸用保護具を装着すること。

その他の情報

本製品の使用時には飲食または喫煙をしないこと。

CF6-135

安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準拠

セクション 9: 物理的および化学的性質

基本的な物理的・化学的特性に関する情報

物理状態	液体
外観	無色
色	透明
臭い	溶剤
臭いの閾値	データなし
pH	データなし
蒸発速度	データなし
融点	データなし
凝固点	データなし
沸点	99°C (210°F)
引火点	17°C (63°F)
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
燃焼性(固体、気体)	該当なし
蒸気圧	データなし
相対蒸気密度(20°C)	データなし
相対密度	1未満(水=1)
溶解度	データなし
分配係数:N-オクタノール/水	データなし
粘度	データなし
爆発限界	該当なし

その他の情報

揮発性有機化合物含量 70~90%

セクション 10: 安定性および反応性

反応性

強酸化剤には、激しく反応する。火災または爆発の危険性が增大するおそれがある。

化学的安定性

極めて引火性の高い液体および蒸気。可燃性または爆発性の蒸気・空気の混合物が発生するおそれがある。

有害反応の可能性

有害な重合は発生しない。

避けるべき条件

直射日光、極端な高温または低温、熱、熱い表面、火花、裸火、混触危険物質、およびその他の発火源となるもの。

混触危険物質

強酸、強塩基、強力な酸化剤。

危険有害な分解生成物

通常の使用条件下では予想されない。熱分解によって以下のものが発生する: 炭素酸化物(一酸化炭素、二酸化炭素)。炭化水素。ケイ素酸化物。プラチナ酸化物。

CF6-135

安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準拠

セクション 11: 有害性情報

毒性影響に関する情報

急性毒性(経口)	未分類。
急性毒性(経皮)	皮膚への接触により、損傷を引き起こすおそれがある。
急性毒性(吸入)	未分類。

ケイ酸(H ₄ SiO ₄)、テトラプロピルエステル(682-01-9)	
LD50 経口 ラット	2000 mg/kg 超
LC50 吸入 ラット	10 mg/l/4 時間
チタンテトラブトキシド(5593-70-4)	
LD50 経口 ラット	2000 mg/kg 超
ソルベントナフサ、石油、軽脂肪族(64742-89-8)	
LD50 経口 ラット	5000 mg/kg 超
LD50 経皮 ウサギ	3000 mg/kg

皮膚腐食性/刺激性	皮膚刺激を引き起こす
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	重篤な眼の損傷を引き起こす
呼吸器系または皮膚感作性	未分類。
生殖細胞変異原性	未分類。
発癌性	未分類。
生殖毒性	未分類。
特定標的臓器毒性(STOT) - 単回暴露	眠気またはめまいのおそれがある
特定標的臓器毒性(STOT) - 反復暴露	未分類。
吸引性呼吸器有害性	飲み込んで気道に入ると生命に危険のおそれがある。

セクション 12: 環境影響情報

毒性

急性水生毒性	水生生物に有害
慢性水生毒性	長期的影響により水生生物に毒性

チタンテトラブトキシド(5593-70-4)	
EC50 ミジンコ 1	680 mg/L

残留性および分解性

CF6-135	
残留性および分解性	水域環境で長期的な悪影響を与えるおそれがある。

生物蓄積性の可能性

CF6-135	
生物蓄積性の可能性	立証されていない。

土壤中の移動性 データなし

その他の有害な影響

オゾン層に有害	未分類
その他の情報	環境への放出を避けること。

CF6-135

安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準拠

セクション 13: 廃棄上の注意

廃棄物処理方法

廃棄物処理方法

その他の情報

廃棄物は、地域／地区／国内／国際規制に従って廃棄する。

空の容器は、可燃性の残留蒸気が内部に残っているおそれがあるので、
取扱いは慎重にする。

セクション 14: 輸送上の注意

この輸送上の説明は、SDS の起草時点で想定された内容に従って記述されており、基準となる変数が、SDS が発行された時点で既知であった、あるいは、未知であったため、変動することがある。

UNRTDG に準拠

国連正式輸送品名	石油製品、その他(ソルベントナフサ、石油、軽脂肪族)
梱包・包装等級	II
ID 番号	1268
危険等級	3
ラベルコード	3
海洋汚染物質	海洋汚染物質



IATA に準拠

国連正式輸送品名	石油製品、その他(ソルベントナフサ、石油、軽脂肪族)
梱包・包装等級	II
ID 番号	UN1268
危険等級	3
ラベルコード	3
ERG コード(IATA)	3H



IMDG/IMO に準拠

国連正式輸送品名	石油製品、その他(ソルベントナフサ、石油、軽脂肪族)
危険等級	3
ID 番号	UN1268
梱包・包装等級	II
ラベルコード	3
EmS-No.(火災)	F-E
EmS-No.(漏出)	S-E
海洋汚染物質	海洋汚染物質
MFAG 番号	128



その他の情報

船舶安全法	引火性液体
航空法	引火性液体

セクション 15: 適用法令

適用法令

この混合物中のすべての成分は、日本の ENCS (既存および新規化学物質) の目録に記載されており、ISHL (労働安全衛生法) は適用から除外されているか、関連規則による CBI 要件または開示規則に従い開示されていない。

ケイ酸(H4SiO4)、テトラキス(2-メトキシエチル)エステル(2157-45-1)

規制参考情報

米国 TSCA (有害物質規制法) インベントリに収載

カナダ DSL (国内物質リスト) に収載

CF6-135

安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準拠

EEC インベントリーEINECS(欧州既存商業化学物質インベントリー)に収載 AICS(オーストラリア既存化学物質インベントリー)に収載 PICCS(フィリピン化学品・化学物質インベントリー)に収載 日本 ENCS(化審法の既存および新規化学物質)インベントリーに収載 KECL/KECI(韓国既存化学物質インベントリー)に収載 IECSC(中国で製造または輸入された現有化学物質インベントリー)に収載 NZIoC(ニュージーランド化学物質インベントリー)に収載 日本 ISHL(労働安全衛生法)に収載 TCSI(台湾既存化学物質インベントリー)に収載	
チタンテトラブトキシド(5593-70-4)	
消防法	第 4 類、引火性液体、第 3 石油類、水不溶性液体(同法第 2 条第 7 項、付表 1、第 4 類)
外国為替および外国貿易法	輸出貿易管理令別表第 1 の 16 項
規制参考情報 米国 TSCA(有害物質規制法)インベントリーに収載 カナダ DSL(国内物質リスト)に収載 EEC インベントリーEINECS(欧州既存商業化学物質インベントリー)に収載 AICS(オーストラリア既存化学物質インベントリー)に収載 PICCS(フィリピン化学品・化学物質インベントリー)に収載 日本の ENCS(化審法の既存化学物質)インベントリーに収載 KECL/KECI(韓国既存化学物質インベントリー)に収載 IECSC(中国で製造または輸入された現有化学物質インベントリー)に収載 NZIoC(ニュージーランド化学物質インベントリー)に収載 日本の ISHL(労働安全衛生法)に収載 INSQ(メキシコ国家化学物質インベントリー)に収載 TCSI(台湾既存化学物質インベントリー)に収載	
ソルベントナフサ、石油、軽脂肪族(64742-89-8)	
労働安全衛生法	第 3 類有機溶媒など(施行令、条、別表 6-2、有機溶剤中毒予防規則、第 1 条、第 1 項、項目 5) 名称表示すべき有害物質(同法 57 条、第 1 項、施行令第 18 条項目 1、項目 2、付表 No.9) 危険物質 - 引火性物質(施行令付表 1 項目 4) 通知対象物(同法第 57 条第 2 項、施行令第 18 条第 2 項、項目 1、項目 2、付表 No.9) 石油ナフサ(政令番号:330)() 特殊健康診断対象物質、現行取扱労働者(同法、第 66 条、第 2 項、施行令、第 22 条項目 1)
消防法	第 4 類 - 引火性液体 - 第 1 石油類 - 不溶性(法令第 2 条第 7 項、付表 1、第 4 類)
大気汚染防止法	揮発性有機化合物(同法第 2 条第 4 項)(物質は有機溶剤中毒予防規則に該当)
海洋汚染等および海上災害の防止に関する法律	油性混合物(施行令、第 2 条第 2 項) 引火性物質(同法第 3 条、第 6 項第 2 号、施行令、第 1 条第 7 項、付表 No.1 項目 4) 有害液体物質(分類 X)、油性混合物(施行令、条、別表 1、項目 1-a(81)) 有害液体物質 - 分類 Y(同法第 3 条第 3 項、施行令、第 1 条第 2 項、付表 No.1 項目 2)

CF6-135

安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準拠

外国為替および外国貿易法	第 2 号の承認(輸入貿易管理令、第 4 条第 1 項第 2 号) 輸出承認(輸出貿易管理令、付表 2)
道路法	自動車交通規制(施行令第 19 条第 13 項、日本道路公団出版)
特定有害廃棄物等の輸出入等の規制に関する法律(バーゼル条約)	有害廃棄物(第 2 条第 1 項 (I) (a)、関係政省令 1993 年 2 号)
労働基準法	がん原性(同法第 75 条、第 2 項、法令添付表 1-2、項目 7)
規制参考情報 AICS(豪州既存化学物質インベントリー)に収載 カナダ DSL(国内物質リスト)に収載 IECSC(中国で製造または輸入された現有化学物質名録)に収載 EEC インベントリー-EINECS(欧州既存商業化学物質インベントリー)に収載 KECL/KECI(韓国の既存の化学物質インベントリー)に収載 NZIoC(ニュージーランド化学物質インベントリー)に収載 PICCS(フィリピン化学品および化学物質インベントリー)に収載 米国 TSCA(有害物質規制法)インベントリーに収載 INSQ(メキシコ国家化学物質インベントリー)に収載 TCSI(台湾既存化学物質インベントリー)に収載 日本の ISHL(労働安全衛生法)に収載 日本の ENCS(既存および新規化学物質)インベントリーに収載	
白金触媒(68478-92-2)	
規制参考情報 米国 TSCA(有害物質規制法)インベントリーに収載 カナダ DSL(国内物質リスト)に収載 EEC インベントリー-EINECS(欧州既存商業化学物質インベントリー)に収載 AICS(オーストラリア既存化学物質インベントリー)に収載 PICCS(フィリピン化学品・化学物質インベントリー)に収載 KECL/KECI(韓国既存化学物質インベントリー)に収載 IECSC(中国で製造または輸入された現有化学物質インベントリー)に収載 NZIoC(ニュージーランド化学物質インベントリー)に収載 日本の ISHL(労働安全衛生法)に収載 INSQ(メキシコ国家化学物質インベントリー)に収載 TCSI(台湾既存化学物質インベントリー)に収載	

セクション 16: その他の情報

作成日または最新改訂日

2021/06/27

参考文献

本書は日本の危険有害性情報の伝達方法の基準である安全データシート(SDS)の要件 JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準じて作成された。

日本 GHS SDS

本安全データシート(SDS)の情報は、本 SDS 記載の日付時点での正確なデータに基づいて作成されたものである。法の許容する最大限の範囲で、NUSIL TECHNOLOGY LLC およびその関連会社(“NUSIL”)は、本書記載の正確さ、完全性、目的または使用の適宜性、商品性、不侵害、性能、安全性、適合性、および安定性を含む情報に関する表現および保証に関して責任は、全面的に制限なく負わないものとする。本 SDS は、適切に訓練されたスタッフによる関連製品の適正使用、取扱い、保管、および処分に関するガイドとなることを目的としているが、すべてを網羅したものではない。NuSil 製品のユーザーは、ユーザー自身の目的と使用内容に応じて、各製品および製

CF6-135

安全データシート

JIS Z 7253 および JIS Z 7252 に準拠

品の組み合わせの安全性、適合性、適正使用、取扱い、保管、および処分を決定するにあたり、ユーザー独自の試験を実施し、ユーザー自身で判断を下すことを推奨する。法の許容する最大限の範囲で NUSIL は、いかなる条件においても、利益の損失、風評被害、製品の回収または業務の中断を含む特殊、間接、偶発的、懲罰的または派生的被害の種類を問わず、それらの責任を負わないものとし、NUSIL の製品を購入したユーザーは、そのことに同意するものとする。